

# かわら

広塚

2006  
No. 629

泥とたわがる。

■ナイスプレー続出？ 田んぼでバレー  
里人祭り「泥んこバレー大会」(関連記事：8ページ)



# 町村破たん回避の道を探る

## 小規模町村破たん回避サミット



昨年、実質的な財政破たん宣言をした日野町。5月25日、その日野町で、小規模町村破たん回避サミット（町主催・県共催）が開かれました。町文化センターを会場に開かれたサミットでは、片山知事による講演と、単独存続の道を選んだ5町村の首長によるパネルディスカッションが行われ、知事の助言のもと、地方の自立と、破たん回避の手法についての討論が行われました。そのもようをお伝えします。

サミットでは、最初に景山享弘町長が開会のあいさつをしました。

### 町長あいさつ（要旨）

日野町は昨春秋、町民の皆さんに、実質「財政破たん宣言」をいたしました。今年度以降、さらに人件費の削減をはじめとする徹底した経費削減、固定資産税の税率引き上げや、下水道使用料の大幅引き上げなど、住民負担のお願いをしておりますが、それでもなお今年度以降の財政収支は赤字となり、その解消には10年以上かかると思われます。こうなる以上、準用再建団体（再建計画に計上した範囲で、国からの借金が認められる）になるしかないのではないかと申し上げたところ、片山知事から「無為無策の計画倒産である」と、大変お叱りを受けました。改めて考えますと、来年度以降の地方交付

税交付金の規模が予想のつかない現状で財政再建計画が作れるはずもないのです。

まちがこのような財政状況に至った一番の原因は、やはり基礎体力を上回る借金をして、今、その返済のピークを迎えていることにあります。1年でも早く収支の合った予算が組めるよう、住民の皆さんの負担増もお願いしておりますが、いかにせん、まちの一般会計歳入の半分以上は地方交付税交付金であります。歳出をいくら削ったところで交付税の減少に追いつかない

というのが実感です。今年度当初予算は約2億5千万円ほど歳入が不足し、福祉関係の事業をはじめ、いわば法令で市町村の事業とされているものでさえ予算が組めないという状況です。また、財政状況に程度の差はあれ、いずれの小規模町村も、血のにじむようなリストラや経費削減に取り組んでおられます。今回、パネリストとして5人の小規模町村長に参加をお願いしました。ぜひ、各町村の現状をお話いただき、お互いに勉強するとともに、国が進める構造改革への思いも語っていただきたいと思います。また、町民の皆さんも多数ご参加くださってありがとうございます。一緒に勉強していきましょう。



まちの現状を語る景山町長



■基調講演

# 「破たんから自立へ」

## 「これからの自治体経営」

講師 鳥取県知事 片山善博氏

サミットのはじめに、現在の小規模町村が置かれている状況、これからの自治体の役割などについての片山知事の講演がありました。ここでは、その要旨をまとめました。

財政破たんの原因は  
どこにあるのか

まず、小規模町村の財政破たんの最大の原因は、景気対策として自治体に国が勧めた公共事業をどんどん追加していったために借金をしすぎたからだと考えます。

一説には、自治体の財政規模が小さいから破たんするんだ、だから合併しなさいというとも言われますが、これは論点のすり替えにすぎません。自治体の財政規模は、40年ほど前の昭和の大合併の頃から変わっていないはずで、自治体の財政破たんの気運が見え始めたのはここ10年くらいです。この説が正しい

とすれば、全国の自治体はもう何十年前にも破たんしているはずで、公共事業を進める際に政府から「借金しても、返す時は（交付税の上乗せなど）めんどろを見るから」などと言われるがままに借金を重ね、今、返済の時期が来ています。しかしながら、上乗せされるはずの交付税額は大幅に減ってきています。どの自治体も今は同じ状況にあり、破たんの可能性があると云えます。

このように、政府や県が言うことを鵜呑みにしてしまう自治体がありにも多い。公共事業とは、住民のためになるかどうかで決められなければならないのに、国から「得だから」と言われてこぞって

事業を進めてきたため、それが地域の自立のためになつていくのがチエックされてこなかった。「世の中にそんなうまい話はない」と、冷静に考えていたら事態は変わっていったかもしれません。そこは自治体も反省すべきと考えます。

まちの借金はよほど慎重に

借金は収入とはいえませんが、しかしながら自治体はそれを財源とみなし、安易に手を出してききました。借金をする際、自分に返済能力があるのかを

冷静に考えていなかったという事です。無理だと思えば借りる額を減らすか、やめるかなどの選択もできたはずなのに。

しかし、政府が地方債の許可を出せば、銀行は自治体に無審査でお金を貸してくれる。自治体の返済能力について、本来ならば貸し手が審査しなくてはならないと考えます。もしそうであれば、今ごろこんな状況になっていないはずで、そして、自治体に無駄遣いをさせないよう見張るのが議

会の役目です。自治体の借金に対してもっとシビアになつて欲しいと思います。また、自治体が必要な借金をする際には、住民投票でその是非を問うこともあっていいと考えます。

誰のための行政改革なのか  
今、国からはどの自治体も、自治体ごとの行政改革の方向・手段などをまとめた「集中改革プラン」を作れと言われて

ほとんどの自治体はプランを作っているはずですが、鳥取県は作っていません。それはなぜか。行政改革はいつた誰のために行うのか、誰に説明責任を果たすべきなのかという事です。

経費削減・人員削減を伴う行政改革は、行政サービスを縮めていくことにつながりません。改革のプラン作りは、そういったことについて一つ一つの住民の納得を得ながらしていくのが基本なのですが、しかしながら「集中改革プラン」は国のほうを向いています。その証拠に、「集中改革プラン」の内容を議会で審議した



誰のための行政なのかをわかりやすく語る片山知事

り、住民に内容を周知している自治体はほとんどありません。それでは意味がないと考えます。住民にまちの現状をさらけ出して、そこで意見を伺っていくほうがよほどいい改革になると考えています。

それに政府は、そんなに一つ一つの自治体のことを考えてくれているはず。自分たちの地域のことを真剣に考えるのは自分たちだけだということをおぼろげに感じています。そう思うことが自立への第一歩だと考えます。

#### 財政運営の見直しを

自治体が自立していくためには、財政運営のすべての要素を一つ一つ丁寧に点検すること、これが一番だと考えています。

鳥取県では、県の財政状況をすべて公開しています。たとえば、補正予算の各部書からの要求内容、査定結果、その理由など、すべて県のホームページ上に掲載しています。そして、公共事業についても、一件一件、必要性を検証しながら予算を組んでいます。それが本当に必要な事業なの



自治体が自立していくための手法を語る

か、納税者としての視点、また持続の可能性などについて内容を吟味し、不必要なものは排除、また、経費の面ではできるだけコストが低く、かつ良質のものを選ぶようにしています。

事業は事業費だけで行えるものはありません。事業を行う人の人件費も当然かかってくる。県では、そういう

た事業費プラス人件費を考慮した「トータルコスト予算」を採用し、真の事業コストの把握に取り組んでいます。

給与体系や労使関係の見直しも必要です。県では、ヤミ給ではないか、納税者の納得が得られるものになっているかなどを考え、給与制度も見直しました。おそらく全国一透明な給与制度になっている

はずです。また、自治体が行っているすべての契約を点検してみてください。安易な随意契約によつていないか、競争原理が働いているかなどをぜひ。

県庁のコピー機のリース料を例に挙げますと、従来はコピー機1台ずつを1年契約でリース契約していたものをすべて一括して3年契約にしたところ、7割もリース料を削減することができました。現在は、電気料金の削減について勉強しているところです。

#### 財政に厳しいチェックを

そうして自治体が編成した予算について、議会には徹底した審議をお願いしたいと思います。審議されたうえで不要となれば、予算の減額修正も大いにあってよいと思っています。議員の中には、「町長と議会は車の両輪だから、町が組んだ予算を変更するのは忍びない」とか、町長でも「議会が予算を変更するなどとはこげんにかかわる」と思われる人もあるでしょうが、無駄なものは削除することはしてほしいと思います。そう

でなければ議会なんていらないうことになってしまいますから。

また、監査委員にも徹底して監査していただきたい。おかしいと思う部分はどんどん指摘していただくことで、次の予算の改善・スリム化につながります。

自治体の使命を点検し  
質の高い行政運営を目指す

自治体においては、それぞれの自治体のミッション（使命）を点検・再整理して欲しいです。誰のために、何の目的で仕事をしているのか、一つ一つの仕事の真の目的を点検してみてください。

例えば、過疎バス補助の目的は、バスを走らせることではなく、交通弱者の交通手段の確保であるはず。そして、小さいながらも質の高い自治体を目指していただきたい。小さい町村だからと尊厳と誇りを失わず、自立を目指してがんばっていただきたいと思っています。

パネルディスカッション内容(要旨)

景山町長 今年度、日野町の当初予算では、明らかに歳出をまかなう歳入が確保できず、赤字予算を組まざるを得ませんでした。これには、日野町固有の負の財産といった問題と、年々地方交付税交付金が減少していることがありますが、これはすべての自治体に共通することだと思えます。

今回、厳しい財政状況の中、合併せず単独でそれぞれがんばっていらっしやるパネリスト(討論者)の皆さんに、まずは自己紹介を兼ねて、状況をお聞かせ頂きたい。

筒井良盛氏(奈良県高取町長) 高取町は、奈良盆地の南端

に位置し、明日香村に隣接しています。まちの主産業は配置売薬業と農業。平成14年度から町財政は赤字となっており、今後さらに膨らんでいく可能性ががあります。その中で、文化のあるまちを残していくと、皆さんに辛抱していただきなながらがんばっています。

樋口忠三氏(島根県川本町長) 川本町と、ここ日野町は人口や財政規模など、非常によく似ています。川本町は、「音楽のまち」のシンボルとして、客席数1000席のホールと、隣接してプール、宿泊施設、レストランなどを建設、数10億円の投資をしたことが、現在まちの大きな負担になっています。こうした今あるものを、住民の皆さん

### ■パネルディスカッション

## 「小規模町村の破たん回避と地方分権改革について」

片山知事の基調講演を受け、日野町と同じく財政危機を迎えている、県内外の5つの町村長によるパネルディスカッション(公開討論)が行われ、景山町長がコーディネーター(進行役)、片山知事も助言者として参加、破たん回避の手法などについて熱い議論が交わされました。

町村の概要データは平成17年度当初のもの。用語については用語解説をご覧ください。

■パネリスト 奈良県高取町長

## 筒井良盛氏



【高取町の概要】面積：25.77 k<sup>2</sup>  
人口：7,989人、財政力指数：0.33<sub>県</sub>  
標準財政規模：20億2,300万円  
経常収支比率：99.9<sub>県</sub>  
起債制限比率：14.0<sub>県</sub>  
人口1人あたり地方債現在高：68万5千円

にどう使っていたかを考えているところです。

道上正寿氏(岡山県西粟倉村長)

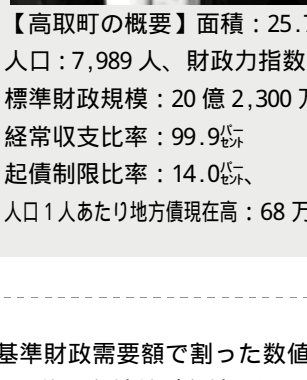
西粟倉村は、鳥取県、岡山県に隣接している人口1700人の小さな村です。私が村長になった7年前と比べて、交付税が4億7千万円ほど減ってきています。そんな中で村長の報酬を平成元年ベースに戻したり、助役、収入役を置かないなどという組織の見直しを行っています。

小林昌司氏(鳥取県若桜町長)

若桜町は、国勢調査人口が5年前と比べて約630人減少し、また、高齢化率も36<sub>県</sub>と、過疎高齢化が進んでいます。平成13年に自立促進計画を策定、まちづくりや行政改革に取り組んだ結果、平成17

■パネリスト 島根県川本町長

## 樋口忠三氏



【川本町の概要】面積：106.39 k<sup>2</sup>  
人口：4,342人、財政力指数：0.16<sub>県</sub>  
標準財政規模：24億5,000万円  
経常収支比率：96.7<sub>県</sub>  
起債制限比率：14.3<sub>県</sub>  
人口1人あたり地方債現在高：147万2千円

年度には、人件費など合わせて2億7千万円ほどを減額することができました。  
吉田秀光氏(鳥取県三朝町長) 私は今、日本中がもう限界に来ているのではないかと考えています。また、こうした会が全国に波及していかなければならないという思いで、今回参加しました。知事の講

### 用語解説(その1)

財政力指数 = 基準財政収入額を基準財政需要額で割った数値の3か年平均。この数値が1を下回る自治体には普通交付税が交付されます。  
標準財政規模 = 自治体の標準的な状態で通常収入が見込まれる経常的一般財源の規模を示すもので、標準税収入額などに普通交付税を加算した額。  
経常収支比率 = 税などの一般財源を人件費、公債費など経常的に支出する経費にどれくらい充てているかで、財政の健全性を判断する数値。この比率が高くなるほど、投資的な経費に充てる財源が少なくなり、財政運営が厳しくなります。



■パネリスト 岡山県西粟倉村長

## 道上正寿氏



【西粟倉村の概要】面積：57.93 k<sup>m</sup>2  
人口：1,704人、財政力指数：0.14<sup>55</sup>  
標準財政規模：9億7700万円  
経常収支比率：91.7<sup>55</sup>  
起債制限比率：13.0<sup>55</sup>  
人口1人あたり地方債現在高：155万4千円

演の最後に、自治体には誇りと自信が大事だといわれました。今、まちの職員には、まちの歴史を次の世代にきちつと伝える役割をしていこうと話しています。

片山知事 先ほどの町村長のお話を伺って、非常にうれしくなりました。皆さん非常に元気ですね。まちの事情は大変なんです、皆さんは、その実情を認識したうえで、これ以上悪化しないように処方せんを頭に描いておられる。今話し合ったことを国に対して強く言っていけば日本は変わると思います。

吉田町長 まちは死んではいない。まちは生きていることを私たちは認識すべきです。事業費がつかないから仕事が

いるような気がしてなりません。地方からものを言うこと提案していく力量を持たねばと思います。

三位一体改革とは何だったのか

景山町長 国の政策には、交付税の削減ばかりが目について、明るい展望が見えてきません。税源移譲されても、もともと税源が少ない小規模町村についてはほとんど恩恵がないということになります。今後ますます自治体間の格差が広がっていくのではないのでしょうか。この件についてご意見がありますか。

筒井町長 三位一体改革により、私たちの見込み以上に交付税が減額されており、もはや町を維持していくことすら



■パネリスト 鳥取県三朝町長

## 吉田秀光氏

【三朝町の概要】面積：233.46 k<sup>m</sup>2  
人口：7,805人、財政力指数：0.30<sup>55</sup>  
標準財政規模：24億4,700万円  
経常収支比率：89.5<sup>55</sup>  
起債制限比率：11.2<sup>55</sup>  
人口1人あたり地方債現在高：76万4千円

■パネリスト 鳥取県若桜町長

## 小林昌司氏



【若桜町の概要】面積：199.31 k<sup>m</sup>2  
人口：4,690人、財政力指数：0.15<sup>55</sup>  
標準財政規模：19億8,400万円  
経常収支比率：98.4<sup>55</sup>  
起債制限比率：13.9<sup>55</sup>  
人口1人あたり地方債現在高：107万円

無理になってきていると考えます。市町村も県も議員も、霞ヶ関で一揆を起すくらいの気持ちで団結して戦っていかなければならないと思います。

樋口町長 同感です。行政改革について、末端の毛細血管である我々自治体が痛めつけられる状態ではいけない。本来ならば大動脈から手術しなければ血管の流れは良くならないと感じます。

景山町長 知事会などを通じて国と議論をされている知事のコメントをお願いします。

片山知事 三位一体改革について、当初の目的と結果が全く違ってきています。本来は交付税を減らすためではなく、国から地方への補助金を改革して、自治体が自由に使える

お金をつくるはずのものだったんですが。

また、新型交付税などの竹中総務大臣の構想には、私は賛成です。これは先ほど樋口町長が言われた動脈部分の改革で、ポイントは3つ。まず一つ目は交付税改革。交付税の簡素化のため、人口と面積を基本にして交付するやり方です。そうすると、我々のような人口の少ない自治体には交付額がかなり減るとの試算もあります。大臣は高齢化率などを勘案して必要な補正はしていくとのこと。こうした交付税のルール化は必要と考えます。二つ目は地方債の自由化。自治体の借金への国の関与をやめようということです。そして三つ目は、自治

# 景山享弘



【日野町の概要】面積：134.02 k㎡  
 人口：4,327人、財政力指数：0.20（※）  
 標準財政規模：19億6200万円  
 経常収支比率：92.3（※）  
 起債制限比率：14.2（※）  
 人口1人あたり地方債現在高：140万2千円

体の破たん処理システムの構築です。まずは破たん防止のため、お金の貸し手にちゃんとチェックしてもらい、万一破たんした場合には債務を圧縮して、再建型の破たん処理を行うということです。

交付税に問題はたくさんありますが、一番悪いのは合併特例債。借金しまくったために困って合併したのに、そこでさらに特例債で借金をさせる。そういうことはやめなさいと言っているのに耳を傾けてくれずに今日に至っている状況です。

単独自立へ向けて  
 景山町長 それでは、小規模町村の自立と、本来あるべき地方分権の改革について議論

したいと思いますが、パネリストの皆さんの単独自立への方針などがありますか。

筒井町長 まちづくりについて、住民でできることは自分たちでしていこうとする住民自治に少しずつ変わってきているので、ある程度交付税の見通しがつけば生き残っていきけると思います。

樋口町長 職員がリードして住民にやる気を持ってもらうことが大切。今までは、ハコモノ行政など、ないものねだりをしてきたと思いますが、今ある地域資源をもう一度見直すべきと考えます。

吉田町長 固定資産税率アップなど、自主財源の確保にも限界があります。政治家にも責任感を持ってがんばっても

らいたい。

道上村長 住民サービスは時代の变化に合わせて変えていかなければいけません。それを中・長期的な視点で国が示して欲しいということをもっとアピールするべきです。小林町長 これからは、自分のところに合った発想の転換が必要。なんでも切っていくのではなく、今ある施設を活用して儲けられるところはしっかりと儲けていかなければなりません。

景山町長 皆さんの「まちを守っていこう」という思いについて、知事はどうお考えですか。

片山知事 自立のためにはいくつかがポイントがあります。ひとつは、将来の見通しがで

### 用語解説（その2）

起債制限比率 = 標準財政規模に対する公債費（まちの借金の返済金）の占める比率の過去3年間の平均。20%を超えると地方債の許可が一部制限されます。

人口1人あたり地方債現在高 = まちの借金の総額を人口で割ったもの。

きる交付税のルール化。もつひとつは、交付税を減らすなら、自治体も仕事をスリム化できる自由度の拡大。そして、自分たちでできることを自治体が努力すること。例えば、病気になるための健康づくりを社会運動としてやることで病気がなくなり、医療費が減り、住民生活の質が良くなる。これは自分たちでできることで、国から言われることもありません。ほかにも、ごみの分別収集や、バスを利用することで地域の行政コストはどんどん下がります。皆さんもぜひ実践してみてください。

景山町長 日野町営バスも、皆さんが利用されればされるほど維持費用が下がります。まちの発展の起爆剤にしたいと思っています。

### まとめ

景山町長 今日話し合った意見は、知事が中央で話してくださると思います。私たちはそれを後から盛り上げるようにしなければと考えます。ムシ口旗を立てて国に対して物申す姿勢にならねばと。生き残っていくためには、まず、



知事の的確な助言のもと討論

自分たちができることは自分たちでやってみて、できないところは行政と一緒に話していく姿勢を貫いて自立していきたいと思えます。今日はパネリストの皆さんの熱い思いが伝わったと思えます。ありがとうございました。

パネルディスカッション終了後、客席からパネリストへの質疑応答があり、サミットは閉会しました。当日の参加者は、文化センターと開発センター（映像視聴）合わせて約350人でした。

# まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を  
お寄せください。  
☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

## 不思議な世界へご招待

ジミー柴田さん来町



記念にハイ・チーズ！

子どもたちにマジックの世界を楽しんでもらおうと、5月11日、日野町榎市出身のマジシャン、ジミー柴田さん（米子市）が、町内の保育所でマジックショーを開きました。ジミーさんは、方言を織り交ぜながらロープやコインなどを使ったマジックを次々と披露、子どもたちは、指先から生み出される不思議な世界に歓声を上げながら見入っていました。



海外でも公演を行うジミーさん。巧みな技術も活力のひとつ

## 地域と若者たちが交流

里人祭りin日野



泥しぐま。そあけながらボールを追う

都市部と中山間地域住民の交流を図ろうと、鳥取環境大学の学生グループ、中山間地域応援隊主催の「里人祭りin日野」が、5月14日に上菅地内で開かれました。2回目の開催となる今回は、里山元気塾（小谷博徳塾長）の田植え体験講座と併せて開かれ、水田の中でのボール「泥んこバレー」や、わんこそばコーナーのイベントが行われました。中でも、泥んこバレーには、県内外の学生を中心に78人が参加、5人程度のチームに分かれてトーナメント戦を行いました。選手らは、泥に足を取られて全身泥まみれになりながら熱戦を繰り広げました。松江市から参加した女性は、「大学のサークル仲間に参加しました。泥の感触は底がザラザラしてたけど気持ちいいです。楽しくて来た甲斐がありました」と話しました。このほか、菅福社会体育館で山菜料理を使った里山会席を味わうなど、参加者と地元の人たちとの交流の場面もありました。

## 美しい歌声の里帰り

野崎幹子リサイタル

日野町出身のソプラノ歌手、野崎幹子さんのリサイタルが、5月14日、町文化センターで開かれました。野崎さんは、懐かしい根雨のまちの風景の話なども織り交ぜながら、モーツァルトの歌曲や日本の叙情歌、オペラの名曲など約20曲を披露しました。集まった聴衆は、野崎さんの艶のある伸びやかな歌声にうっとり聞き入り、惜しみない拍手を送っていました。



時には軽快に、時には優しく響く歌声



## 笑顔でいらっしやい!

### 日野高校シヨップ開店

5月13日、出雲街道根雨宿一番館(根雨)に日野高校シヨップが開店しました。

これは、5月から12月の毎月第2土曜日に、日野高校の生徒が授業で作った花や野菜、加工品などを販売するもの。

開店記念のセレモニーで日野高校郷土芸能部が荒神神楽を披露したあと、一番館と商工会館前のテントで生徒が店員になって販売を行いました。会場には、地元の住民を中心に多くの人らが集まり、生徒たちが心を込めて作った商品を手にとり、買い求めていました。



豆腐、ジャムなどが人気



雑草だらけの河原が見違えるほどきれいに

## 企業もボランティア

### 社会貢献活動で草刈り

5月18日、日野中学校付近の日野川周辺の草刈り作業を、中村建設(有)が行いました。

これは、同社が社会貢献活動のひとつとして行っているもので、作業員8人が一日かけて生い茂った雑草を刈り取りました。

日野中学校の谷本和賀雄校長は、「校内は職員・生徒で清掃をしています。外はなかなか手が回らないのが実情です。今回こうした申し出があり、大変ありがたいことだと感謝しています」と喜びを語りました。

## 根雨小学校田植え

## 泥って気持ちいいね!

子どもたちに自然の恵みと生産の喜びを感じてもらおうと、5月19日、根雨小学校裏の水田で、同校児童による田植えが行われました。

これは、勤労生産・農業体験学習として毎年行われているもので、児童全員でもち米を育て、来年には収穫した米を使い、保護者らと餅つきをする予定です。

3枚の水田に並んだ児童たちは、久しぶりの泥の感触に歓声を上げながら、苗を一つずつついでいねいに植えていきました。また、水田の周りでは保護者や地域の人たちが、田植えの様子を笑顔で見守っていました。



楽しみながら生産の苦勞を学ぶ



運動会の定番、花吹雪

## 日頃の疲れを慰労

### 金持地区運動会

地域住民の交流を図ろうと、金持地区の運動会が、5月21日、金持神社下の広場で開かれました。

好天に恵まれたこの日、金持地区住民約80人が参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、スプリンリレー、関所やぶり、借り物競争などお馴染みの競技に汗を流しました。

運動会終了後には、田植え終了を祝う「代みて」を兼ねた懇親会も会場で開かれ、運動会と農作業の疲れを共に癒しました。



通り慣れている道も、歩いてみると意外と大変？

## 新緑の奥渡を行く

奥渡地区ウォーキング大会

奥渡地区住民の親ぼくと健康づくりを図ろうと、奥渡公民館主催のウォーキング大会が、6月4日に開かれました。毎年恒例行事となつているこの大会には、奥渡地区住民約50人が参加。晴れ上がったさわやかな天気の中、奥渡公民館を発着点とした別所、榎市、小原を通る6キロのコースなど2コースに分かれて、ウォーキングを行いました。また、今回はコース途中敷か所にチェックポイントを設置、地元になんだ問題などに答えてひとつの言葉を完成させるクイズの趣向もあり、参加者は一緒に回答を考えながらさわやかな汗を流していました。



さつき 盆栽の手入れを実演



ずらり並んだ力作を観賞

## みごとなさつき・盆栽が一堂に

第34回町さつきまつり

町内の愛好者が丹精して育てたさつきや盆栽を一堂に展示する、第34回日野町さつきまつりが、6月6日から8日の3日間、開発センターで開かれました。

今回展示されたのは、さつき40点、盆栽19点で、会場いっぱいには色鮮やかなさつきと、みごとに手入れされた盆栽が並びました。町内をはじめ、町外からも多くの来場者があり、一点一点、出来栄えに感心しながら眺めていました。

また、来場者には抽選でさつきや山野草がプレゼントされたほか、さつきの育て方の講習会も開かれました。

受賞者（最優秀賞のみ紹介）  
さつきの部 銘木の部（50年以上）関鷲夫さん（黒坂）  
盆栽の部 塚本正夫さん（舟場）

展示物が映えるよう、開発センターに久城博さん（黒坂）が照明器具一式を寄付してくださいました。ありがとうございました。

## 峠の茶屋でひと休み

出雲街道の歴史を訪ねる会

間地峠や根雨宿など、出雲街道の歴史をたどり、魅力を再発見しようと、出雲街道の歴史を訪ねる会（同実行委員会主催）が6月11日に開かれました。

昨年が続いて2回目となる今回は町内外から約150人が参加、二部、根雨間の出雲街道を歩いて昔の生活を体験しながら、街道の歴史や自然などについて学びました。

途中の間地峠では、昨年好評だった「峠の茶屋」が今年も一日限りで開店し、参加者は地元ボランティアのもてなしを受けながらひと休み、さわやかな山の空気の中で街道を往く旅人の気分を味わいました。



提灯やよしすなど、情緒たっぷりに茶屋を再現

# みんなで作ろう！夢の舞台

## 町民ミュージカル出演者・スタッフ募集



前回公演「新おしどりの物語」より

- 募集内容** 町民ミュージカルの出演者  
スタッフ（演出・指導助手、大道具、小道具、衣装、メイクほか）
- 募集人数** 出演者＝児童・生徒 20 人程度、大人 10 人程度、スタッフ＝ 20 人程度  
（応募者多数の場合は選考します）
- 募集条件** 小学校 2 年生以上の人（スタッフは高校生以上の人）  
7 月～ 12 月の本番まで毎週金曜日（18：30～20：30）と、毎月 1～2 回の、土曜日のレッスンに参加できる人（出演者）  
練習場への交通手段は各自でお願いします。  
レッスン料＝ 1 か月 1,000 円（1 世帯 2 人目からは 1 人あたり 500 円）の負担をお願いします。
- 応募方法** 応募用紙に必要事項を記入のうえ、7 月 5 日（水）までに（必着）町文化センターまで提出してください。（応募用紙は町文化センター・町公民館にあります）

演目は、長楽寺を舞台にしたオリジナル脚本。  
公演日は、12 月 17 日（日）に決定！

「町民ミュージカル」  
を応援する 100 人の会  
の会員を募集します。

平成 14 年の国民文化祭に始まり、5 回目を迎える町民ミュージカル。毎回、子供たちを含む出演者、スタッフが半年間かけて創りあげた素晴らしい舞台が感動を呼んでいます。

町民ミュージカル実行委員会では、この芽を絶やすことなく、大きく花開かせるため、「応援する 100 人の会」をつくることになりました。ぜひ、皆様のご参加をお願いします。

- 会費** 1 口 3,000 円
- 会員の特典** 12 月 17 日（日）の公演当日のチケットを 1 枚（昼・夜公演のいずれか）無料で確保します。  
月一回程度発行する「ミュージカル通信」で、練習の様子をお知らせします。  
公開レッスン、公演前日のリハーサルをご覧いただけます。
- 入会申込み** 町民ミュージカル実行委員会（町文化センター内）までお申込みください。

お問合せ・お申込みは、町文化センター内 日野町民ミュージカル  
実行委員会事務局（電話 72 - 1300）まで。



介護保険施設入所の方へ  
住民税非課税世帯の方には  
減額制度があります

介護保険サービスを利用し、施設に入所している人（短期入所も含む）で、所得の低い人は、申請により負担が軽減されます。

対象者 利用者本人及び同じ世帯内全員が住民税非課税利用者負担段階 合計所得金額と課税年金収入により段階が決まります（平成17年中の収入）。詳しくは、問い合わせください。

申請先 役場健康福祉課又は役場黒坂支所

持参品 印かん

有効期限 7月1日～翌年6月30日まで（8月以降の申請は申請月初～）

現在認定の人 6月30日で期限が終わります。引き続き減額認定を受けられる場合は、再度申請が必要です。

問合せ先 役場健康福祉課  
担当 音田（電話72 0334）

特別医療費受給資格者証の更新を

重度の身体・知的障害、精神障害がある人、ひとり親家庭の人（所得制限あり）などが医療保険で医療を受けた場合に自己負担部分を助成する「特別医療費」の受給資格者証をお持ちの人は、次のとおり更新手続きをしてください。

対象者 現在、受給資格者証（有効期限：平成18年6月30日）をお持ちの人

申請先 役場健康福祉課または役場黒坂支所

持参品 受給資格者証（青色）印かん

問合せ先 役場健康福祉課  
担当 荒木（電話72 0334）

ホームヘルパー養成講座  
（2級課程）受講生募集

申込期間 7月末まで

開講期間 8月1日～10月31日まで（平日・土日開講）

場所 おしどり荘（根雨）  
受講料 6万円（教育訓練給

付制度対象講座）

申込み・問合せ 医療法人社団 日翔会介護老人保健施設 おしどり荘（日野町根雨909 1、電話72 0410）

裁判所事務官採用 種試験

裁判所では、平成18年度の裁判所事務官採用 種試験を次のとおり行います。

裁判所事務官は、各地の裁判所に勤務して、裁判部では裁判所書記官のもとで各種裁判事務に従事し、事務局では司法行政事務全般の事務に従事します。

受験資格 昭和60年4月2日～平成元年4月1日までに生まれた人

受付期間 7月10日～7月18日  
第1次試験日 9月10日（日）  
採用予定人員 中国地方で約5人（全国で約50人）

問合せ 鳥取地方裁判所事務局総務課人事第一係（〒680 0011 鳥取市東町2 223、電話0857 22171）

なきっかけづくりを町でしてもらおうと良いのではないのでしょうか。

（町文化センターからの回答）

町内に文化活動をしておられる多くの方がいることをたいへん誇りに思っています。それに対して、展示設備がある施設がないことはご指摘のとおりです。財政の厳しい現在、皆さんの知恵をお借りしながら良い方策を考えていきたいと思いますが、今すぐできることは、町内でそれぞれ自主的に行っている展示会（図書館、公民館、郵便局、銀行、出雲街道根雨宿一番館、蔵美術館など）を広報などでお知らせすることです。また、開発センターでは毎年「さつきまつり」「文化展」「生きいきひのふれあいまつり」などが行われていますが、その際の照明が暗いということで、このたび照明設備を寄付していただきました。展示が一層映えることと感謝しています。

今後とも、文化団体連絡協議会、文化センター運営委員会でも検討し、皆さんのご意見もいただきながら、よりよい方法を考えていきたいと思ひます。



## お寄せしませ 提案箱

町内5か所に置いている『提案箱』に寄せられたご意見・ご提案の一部をご紹介します。

（町内の方からのご提案）

日野町は文化を大事にすることが遅れていると思ひます。文化事業は今すぐ赤字の解消につながるものではありませんが、住みやすいまちづくりに必要なことだと思ひます。町内では多くの方が自主的に文化活動をしておられます。年に1度や2度の展示会だけでなく、図書館でしているような小さな展示会や開発センターなどの空室に常設展示室を設けるなどの工夫が必要だと思ひます。また、遺跡の発掘・調査や、それらの展示なども必要です。町の職員だけでできることではないので、関心のある地域の方なども巻き込んでやってみたらと思ひます。そん

まちへのご意見・ご提案などなんでも提案箱へお寄せください。寄せられたご意見の一部と回答を紙上でご紹介します。

提案箱の設置場所＝町役場、役場黒坂支所、日野病院、根雨および黒坂郵便局

# 日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

## ■社会教育関係団体の会議を町公民館で開く

### 公民館運営審議会

5月22日、平成18年度の町公民館運営審議会を町公民館で開き、平成17年度の事業報告及び平成18年度の町公民館運営方針・事業計画について協議しました。

新規事業として、「おでかけたい」と称し、5月から毎週水曜日の午後3時から4時まで、

町内の小学校に交互に出かけ、下校時のバス待ちの児童に、スポーツ、ものづくり、大人の話を聴くなどしながら見守っています。また、町公民館事業への町民のニーズを把握するため、各自治会・団体、グループ・サークル等へのアンケートの実施や意見交換会も計画しています。ご協力をお願いします。

子ども居場所づくり実行委員会

5月23日、平成18年度の第1回町子ども居場所づくり実行委員会を町公民館で開き、平成17年度の事業報告・決算、平成18年度の事業計画・予算などについて協議しました。

今年度も、多くの子どもたちに参加していただくように盛りだくさんの内容で計画をしています。お父さん、お母さんさん子どもたちと一緒に参加してみてください。

### 青少年育成会総会

5月11日、平成18年度の町青少年育成会総会を町公民館で開き、平成17年度の事業報告・決算、平成18年度の事業計画などについて協議しました。

その中で、青少年の犯罪、非行防止のために街頭指導パトロール、防犯活動等を実施していくことを決めました。



子ども居場所づくり実行委員会では、月2回、子ども料理教室など、子どもたちが楽しめる様々な事業を行っています。



生まれ変わった公民館へぜひどうぞ！

### サザンカとツツジを植えました！

昨年12月から今年1月にかけての大雪で、町公民館の建築時から敷地内に植えてあった「カイツカイブキ」の一部が倒れてしまいました。その後倒木を伐採し、このたびサザンカ10本、ドウダンツツジ20本を植えました。花咲く季節には、公民館を訪れる人を楽しませてくれると思います。ぜひお越しください。

## 公民館ロビー展の おしらせ

### 音田定穂さん作品展 を開いています。

花や人物などを描いた透明水彩画や、かずらを使った手づくりの籠など、あたたかみのある作品の数々を展示しています。

6月30日(金)まで、町公民館ロビーで開いています。どうぞご覧ください。  
(時間:午前8時30分～午後5時まで)



週2回、防犯パトロールを実施

安全・安心な地域づくりをめざして、会員が自主的に週2回、町内の防犯パトロールを行っています。  
会員は現在19名ですが、まだまだ少なく、十分な活動ができません。現在、ご協力いただける会員を募集しています。お申込み・お問合せは町公民館までお気軽にとぞ。

### ■地域防犯・生活安全パトロール協議会から

協議会定例会を開きました

5月26日、定例会を役場会議室で開催し、2月20日から安全・安心な地域づくりをめざして自主的に行っている防犯パトロールについて、会員相互の情報交換を行い、今後の活動について確認しました。



田口郁江さん



石田貴恵子さん

新規会員紹介

会員を募集しています

### 男性の料理教室開催

男性を対象にした料理教室を開きます。日頃台所に立つことのない人、料理に興味のある人など、誰でも参加できます。この機会にぜひご参加ください。

日時 7月16日(日)  
午前9時から

場所 町公民館  
定員 15人(定員になり次第締め切ります)  
参加費 500円  
持参するもの エプロン、三角巾、タオル  
申込み方法 7月7日(金)までに町公民館へ電話で申し込みください。

### 子ども居場所づくり事業

これからの地域子ども教室の予定です。  
6月18日(日)～24日(土)  
小学生通学合宿  
(下菅 至誠寮)

6月24日(土) 陶芸教室  
「作品鑑賞」(町公民館)

7月1日(土) 川遊び  
(カワコふれあい公園)

7月15日(土) おし花教室  
「1回目」(町公民館)

7月22日(土) カヌー教室  
(カヌーの里)

8月5日(土) おし花教室  
「作品鑑賞」(町公民館)

8月19日(土)・20日(日)  
キャンプ(鵜の池)

詳しい内容等は学校などを通じて、別途お知らせします。  
詳しくは町公民館までお問い合わせください。

### 公民館グループ活動紹介

現在、町公民館を利用して活動されているグループ・サークルを、2回に分けて紹介します。  
新しい趣味を持ちたいな

ど、これから何かしてみたいと思っておられる人は公民館までご連絡ください。

【グループ・サークルの名称・活動内容】

みじょうかい  
未生会「前田グループ」  
(生け花)

町陶芸グループ(作陶)

町墨彩会(花、風景などを墨と彩で写生)

大山友の会(手芸など)

料理教室「生材」(季節の食材を使った料理)

カトレアグループ(染色など)

すみれグループ(廃油を使った石けん作り)

黒坂書道グループ(書道)

コーラスグループ「アザレア」(女声合唱)

ストレッチ体操「黒坂グループ」(ストレッチ体操)

●公民館からのおしらせです。



# 見守りついでに遊びたい。

## 「おでかけたい」にご協力を



みんなでスポーツや「ものづくり」をしています

町公民館では、5月から毎週水曜日、午後3時～午後4時の一時間、根雨小学校、黒坂小学校に交互に出かけていき、子どもたちのバス待ちの時間を利用して、一緒に時間を過ごしています。

これを「おでかけたい」と呼んでいます。「おでかけたい」の目的は、最近多発している、子供たちを狙った犯罪から子どもたちを守ることです。

町公民館では、「おでかけたい」に協力していただける人を募集しています。まちの皆さんも、小学校と一緒に出かけ、自分が得意なことを子どもたちに教えてみませんか？

現代の子どもたちは、小刀で鉛筆を削ることもできない、雑巾を絞ることもできない、そんな現実が、いま全国的な調査で結果となって現れています。テレビゲームに集中する子どもたちの脳が「ゲーム脳」となりつつある現実もあります。

そんな現代の子どもたちに、皆さんが昔に遊んでいた遊び、作っていたおもちゃなどを、子どもたちに教えていただけたらいいなと思っています。

子どもたちとのふれあいを通じて、皆さんに子どもたちの顔と名前を覚えていただき、とっさの時には子どもたちを守り、そして反対に子どもたちからも手を差し伸べられるようになればいいですね。

また、子どもたちとふれあうことで、子どもたちに元気をもらい、皆さんも元気に長生きをしていただきたいとも考えます。

からだもこころも元気になって、病院に行かなくなったと思っていただける、そんな時間をつくっていきたいと思います。

みなさんのご協力をお願いいたします。

## 「おでかけたい」 日程表

根雨小学校 時間はいずれも午後3時～午後4時まで		黒坂小学校 時間はいずれも午後3時～午後4時まで	
6月21日(水)	7月4日(水)	6月28日(水)	7月11日(水)
9月6日(水)	9月20日(水)	9月13日(水)	9月27日(水)
10月4日(水)	10月18日(水)	10月11日(水)	10月25日(水)
11月1日(水)	11月15日(水)	11月8日(水)	11月22日(水)
11月29日(水)	12月13日(水)	12月6日(水)	1月17日(水)
1月24日(水)	2月7日(水)	1月31日(水)	2月14日(水)
2月21日(水)		2月28日(水)	

お申込み・お問合せは町公民館（電話 74 0212）まで

町公民館・町子ども居場所づくり実行委員会

# 隣保館だより

編集 下樓隣保館 〒689-4526 日野町下樓157番地1  
 電話：72-1191 (FAX兼)  
 E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



## 日野高校で人権講演会

5月23日、日野高等学校(根雨)で、講師に鳥取大学医学部教授の藤井輝明さんを迎え、「日野高校のみなさんへ」という内容で講演会が開かれました。

藤井さんは東京都出身「血管腫」という生まれつき病気のため、差別やいじめに苦しめられましたが、家族をはじめ周囲の励ましに支えられて、持ち前の明るさと努力で、看護学に独自の世界を築き、ハンセン病国立療養所で看護の研修指導にあたられました。

また、容貌障害に対する差別や偏見をなくすため、全国で講演活動を行なっておられるほか、「運命の顔」「さわってごらん、ぼくの顔」などの著書も執筆されています。

講演で藤井さんは、自分の体験を織り交ぜながら、「どんな人間もこの世に生まれてきた以上、必要なのは誰一人おらず、その人にしかできない役割や魅力

が必ずある」と話し、「全ての人にコンプレックスや悩み、不安があるが、これは生きる証。見方を変えればマイナスがプラスになる。こつこつ前進していけば、自分のチャームポイントが見えてくる。自分のいいところ、とても穏やかな口調で生徒たちに語りかけていました。



藤井輝明さんの著書「さわってごらん、ぼくの顔」は、隣保館にもありますので、どうぞ読んでみてください。貸し出しもしています。

ぼくの顔にはおおきなふくらんだアザがある。外を歩いているときに、ジロジロ顔を見ている人はたくさんいるけれど、ぼくはだれにでも、いつも笑顔でおじぎをするんだ。そうしたら、中にはぼくにっつられて笑顔になる人だっている。まるで友だちになれたみたいで、ぼくも、相手もうれしくなるんだ。

「さわってごらん、ぼくの顔」より引用

## 7月の学習講座予定

木工講座	4日(火)	11日(火)	午前9時~(下樓集会所)
編み物講座	8日(土)	午後7時~	(老人憩いの家)
生活の知恵講座	15日(土)	午後7時~	(下樓集会所)
生け花講座	18日(火)	午後7時30分~	(下樓集会所)

榎の実学習会開講式  
 中学校 5月16日(火)  
 小学校 5月23日(火)  
 それぞれ、隣保館で開講式を開きました。  
 教育委員会や先生方の激励のあと、児童・生徒たちが今後の抱負などを発表し、今年度の学習会がスタートしました。

## 7月のホールイベント

お芝居くらぶ さん・ふいーど (^o^)  
夏・チャリティー公演  
**風はいつも、君のそばに…**



戦士たちよ、闇を切り裂く風になれ

とき 7月8日(土) 19:00 開演 (18:30 開場)  
9日(日) 14:00 開演 (13:30 開場)  
ところ 町文化センター / ホール森の音楽隊  
入場料 前売 500円 (小学生以上)、当日 800円 (高校生以上)  
後援 町教育委員会  
ごうぎん鳥取文化振興財団助成事業

### 日野郡バンドフェスティバル

入場無料!

とき 7月29日(土) 14:30 ~  
ところ 町文化センター / ホール森の音楽隊  
出演団体 日南中学校吹奏楽部、江府中学校吹奏楽部、日野中学校吹奏楽部  
ゲスト 鳥取県警察音楽隊

### 日野川合唱フェスティバル

入場無料!

とき 7月30日(日) 13:00 ~  
ところ 町文化センター / ホール森の音楽隊  
出演団体 町内で活動している、森の子合唱団、合唱団おしどりたち、コーラスグループアザレアのほか、伯耆町・江府町・日南町の合唱団が出演します。  
特別出演 小椋美香子さん (ソプラノ)

### 人形劇団ブーク公演

## 「くまの子ウーフ」「ダンボールくん」

神沢利子原作の名作「くまの子ウーフ」。お母さんとウーフのあたたかいふれあいを中心に、5つのエピソードで構成されています。

ユーモア、そして時に幼い悲しみもあるウーフの「不思議」の世界がいきいきと描かれます。

大きな舞台上でみる本格的人形劇!



とき 7月31日(月)  
10:15 開演 (9:45 開場)  
ところ 町文化センター  
ホール森の音楽隊  
入場料 一般 1,700円 (当日2,000円)  
高校生以下 1,300円 (当日1,500円)  
親子ペア券 2,500円 (当日3,000円)

主催: 日野町 後援: 町保育所保護者会 町小中学校PTA連絡協議会

無料。会場はいつでも図書館参考図書コーナーです(参加)

7月22日(土) 午前10時30分  
大学農学部教授 本名俊正氏(鳥取)

6月24日(土) 午前10時  
大学農学部教授 田辺賢二氏(鳥取)

再生の課題  
ナシ研究最前線と産地

図書館へお越しください。  
図書館では、県立図書館とネットワーク(情報ハイウェイ)を結び、県立図書館で行っている講座が生中継で同時に受講できるようにしました。希望する人は図書館へお越しください。

サイエンス・アカデミーへのご招待

# 文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail [hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp](mailto:hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp)

月~金 午前9時30分~午後6時

土・日 午前9時~午後5時

カレンダー

○印が休館日です

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

### 図書館の展示コーナー

■「ハンセン病を正しく理解する週間」パネル展  
7月5日(水)~14日(金)

■籐と蔓の作品展  
7月15日(土)~30日(日)  
「蔓の会」の皆さんによる、籐や蔓を使った作品の展示です。

### 図書館おはなし会

7月15日(土) 10:00 ~  
絵本やおはなしを一緒に楽しみませんか?(無料)  
7月のおはなし: 神沢利子さん(くまの子ウーフ作者)の本などを楽しみましょう。「たまごのあかちゃん」「たんたんぼうや」ほか

### 木のおもちゃづくり

7月23日(日)  
10:00 ~ 15:00  
竹とんぼやぶんぶんごまを作ろう!  
糸のこを使ったおもちゃも作れます。  
会場: 山村開発センター  
講師: 松本節哉さん





# ひのっこ保育所 子育て支援室 だより

ひのっこ保育所 子育て支援室では、保育所に入所していない子どもたちを迎えて、毎週水曜日、午前9時から2時間、親子で楽しく遊んでいます。

日ざしがまぶしくなり、夏を感じるようになりましたね。7月は、外で砂と水を使って思いきり遊びたいと思います。廃品を使って水遊びの道具も作ってみましょう！

また、帽子、ビーチサンダルなどのぬれてもいい履物、着替え、タオル、お茶を準備してきてください。

昨年度に名札を作っておられる人は付けて来ましょう。

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田  
(電話 72 - 0238)

■ 7月の予定カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
				5	6	7	8
	2	3	4	12	13	14	15
	9	10	11	19	20	21	22
	16	17	18	26	27	28	29
	23	24	25				
	30	31					

印が実施日です  
5日は、水遊びおもちゃづくりの日、  
19日はおはなし会です。

## 入門介護講座 受講者募集!

米子市社会福祉協議会では、介護技術のポイントや基本を学ぶ「介護講座」を開きます。

日時	内容	講師	会場
7月11日(火) 10:00 ~ 15:00	筋力向上トレーニング	運動訓練指導士	ふれあいの里 4階中会議室
7月19日(水) 10:00 ~ 15:00	実技実習 ~さっぱり部分浴~	看護師または 介護福祉士	ふれあいの里 2階実習室
7月25日(火) 10:00 ~ 15:00	調理実習 生活習慣病予防の 食事のポイント	管理栄養士	中国電力(米子市加茂町)

講座内容・講師など変更することがあります。  
定員 先着30人(定員になりしだい締め切り)  
受講料 無料(調理実習については材料費1,000円が必要です)  
その他 1日のみの参加も可能です。動きやすい服装で参加ください。  
申込み・問合せ 米子市社会福祉協議会 鳥取県西部地域介護実習普及センター(米子市錦町1-139-3、電話 0859-23-5470)


### こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

藤の寺藤の雨あり雨上る (首相官邸で)	記者会見後にちらと武者人形	故郷の蛙聞こゆる電話かな	プラタナス葉音清しく夏来る	ソプラノでふ声の美しきや風光る	田水はる城の如くに一軒家	句の披露声朗々と牡丹宿	新緑の湧き立つ山的笑声	夕かはづ鳴きてふるさとさみしかり(講師) 谷悦子
(五十音順) 真壁富貴枝	徳本千鶴子	久城霞溪	川上文子	金川昭子	勝瀬京子	荒木習子	安達つるゑ	

### 編集後記

表紙写真のその後、気になりますか? 気になりますよね? 下の写真がそれです。よ子のみんなはマネしないようにね!!  
破たん回避サミットでは様々なことを考えさせられました。自立のために、できることから一つずつ。まちの皆さんと一緒に実践していきたいです。(i)



お見事...

### 赤ちゃん誕生

おめでと〜ございませう

届出 5月11日〜6月12日 敬称略

6月届出分 (出生児) (保護者)(性別)(住所)

荒木 若菜 憲男・真美 女の子 黒坂

6月届出分 (氏名) (年齢) (住所)

平野 俊一 84歳 板井原  
足羽 重雄 87歳 別所  
橋谷 澄雄 74歳 根雨

「ご冥福をお祈りします」

5月31日現在

## わたしの町

(前月比)

人口	4,220人 (-9)
男性	1,970人 (-7)
女性	2,250人 (-2)
世帯	1,562戸 (-1)

# 7月 ぐらしのカレンダー

JULY (文月)



基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診の受付時間：胃がん検診は午前8時30分、午後1時、午後2時、基本健康診査は午前8時、午前9時、午後1時、午後2時、（胃がん検診を受けられない人はなるべく午後1時、午後2時に受診してください）

1 土	
2 日	
3 月	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時 ----- 不燃・資源ごみの収集日（黒坂・菅福地区）
4 火	乳児健診、BCG予防接種 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 ----- 隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～
5 水	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時 ----- 心配ごと・子育て・高齢者生活相談 開発センター、老人福祉センター 午後1時～午後3時 ----- ペットボトルの収集日（1・2・3班）
6 木	
7 金	
8 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時～
9 日	第61回日野郡民総合体育大会（会場：日南町）
10 月	基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診 町公民館（受付時間はページ左をご覧ください） ----- 不燃・資源ごみの収集日（根雨・日野地区）
11 火	基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診 町公民館（受付時間はページ左をご覧ください） ----- 不燃粗大ごみの収集日（黒坂・菅福地区） ----- 隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～
12 水	行政相談 開発センター 午前9時～正午 ----- ペットボトルの収集日（4・5・6班）
13 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
14 金	
15 土	ねう祭り 根雨地内 午後6時～（大雨中止） ----- 隣保館生活の知恵講座 下榎集会所 午後7時～

16 日	
17 月	海の日（ごみの収集は休みます） 月曜日の地区は18日に収集します
18 火	1歳6か月児、2歳児健診 開発センター 受付：午後1時15分～午後1時30分 ----- 月曜日と火曜日の地区のごみを収集します ----- 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～
19 水	ペットボトルの収集日（7・8・9班）
20 木	
21 金	
22 土	
23 日	
24 月	古紙の収集日（黒坂・菅福地区）
25 火	不燃粗大ごみの収集日（根雨・日野地区）
26 水	
27 木	基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診 町公民館（受付時間はページ左をご覧ください） ----- 不要犬・猫引取り日 日野保健所
28 金	基本健康診査・肺がん・胃がん・大腸がん検診 開発センター（受付時間はページ左をご覧ください）
29 土	
30 日	第29回中国山地日野鶴の池マラソン大会 鶴の池湖畔 受付：午前8時30分～、スタート：午前10時～
31 月	固定資産税2期分、国民健康保険税1期分、 介護保険料1期分納期限 ----- 古紙の収集日（根雨・日野地区）

まちのミニギャラリー情報（町内の展示コーナーを紹介します）  
根雨郵便局：「ポーセラーツ展」6月26日～7月14日まで。  
山陰合同銀行根雨支店：「木島泰さん写真展」～7月7日まで。  
「町墨彩会展」7月10日～8月4日まで  
蔵美術館（上菅）：「徳岡信子さん絵画展『かやぶき屋根の四季』」7月1日～8月31日まで。  
島根銀行：「野坂正昭さん写真展」～7月31日まで

直通電話	総務企画課 72 0331	住民課 72 0333	出納室 72 2105	健康福祉課 72 0334
	産業振興課 72 2101	黒坂支所 74 0211	公民館 74 0212	議会事務局 72 0335
	農業委員会 72 2103	教育委員会 72 2107	文化センター 72 1300	給食センター 72 1167
	健康福祉センター 72 0334	地域包括支援センター 72 1852	ひのっこ保育所 72 0238	黒坂保育所 74 0225
	下榎集会所 72 1191	役場代表番号（夜間・休日） 72 0331		

# 町長の定期便

第3回

自分たちのまちは自分たちで考える

山は新緑でまばゆいばかりです。川はアユ釣りが解禁となり、水田では田植えも終わり、稲がすくすくと育っています。梅雨入りの季節ですね。

さて、5月25日には、町文化センターを会場に「小規模町村破たん回避サミット」を開き、片山知事と、西日本の5つの町村長に来町いただきました。いずれも日野町と似かよったところのある町村で、平成の大合併もせず単独存続の道を選択されたまちの首長に、苦しい財政状況の中、自立へ向けての実践と、これからの取り組みを素直に語っていただき、この取材の機会にもその話を聞いていただき、これからのまちづくりの参考にさせていただこうと思っております。後に参加者に感想をお聞きしましたら、他町村の状況や、町村長の考え方、また知事の考えがわかって良い企画だったと言っていました。サミットの内容については、この紙面で特集していきますのでご覧ください。

6月2日には、県と市町村の行政懇談会がありました。国も県も市町村も財政難で苦しんでいる中、今までの制度が目まぐるしく変わりつつあります。地方債の自由化、一括交付金などについて話し合われましたが、まさに変革の時代に突入の感であります。今までの国中心の自治体運営は終わりを告げ、これからは自分たちのまちは自分たちで考え、責任を持った特色ある自治体づくりになることを実感しました。町民の皆さんの行政運営のかわりを深める仕組みを考えますので、ぜひ参加していただいて、まちの将来を共に考えましょう。

日野町長 景山 享弘

## 町食生活改善推進協議会さん料理 ②9 オススメ料理



【材料】4人分

鶏むね肉(200g)、A【酒(大さじ3)、塩・こしょう(少々)】、もやし(1/2袋)、にんじん(100g)、きゅうり(1本)、卵(2個)、そば(乾麺100g)、サラダ菜(4枚)、ミニトマト(8個)、B【めんつゆ(100ml)、玄米黒酢(大さじ2)】

【作り方】

①鶏肉にAをふり、5分おいてからラップをかけて電子レンジで4分加熱し、冷ましてから細長くさく。

②にんじんは細切りにして熱湯を通し、もやしは軽くゆでる。きゅうりは斜め薄切りにして千切りにする。

卵で錦糸卵を作る。

そばは半分に折って表示どおりにゆでてから冷水でよく洗い、水気を切る。

器にサラダ菜をしき、④を盛り、①・②・③を盛り合わせてミニトマトを飾る。Bをかけてからいただく。

## 中華風そばサラダ

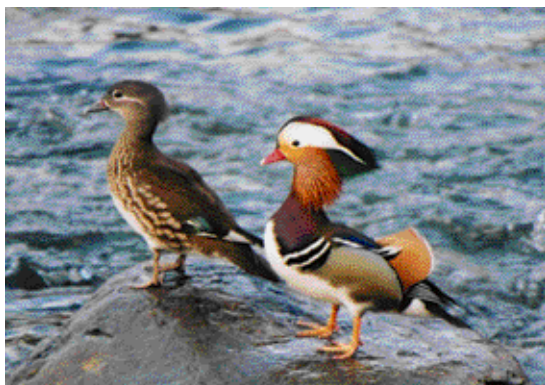
黒酢を使って、さっぱり冷麺風。  
具たくさんなので主食にもオススメ!



■1人分栄養量

▶エネルギー 273kcal ▶たんぱく質 18.7g

▶脂質 9.1g ▶塩分 2.9g



『君のひとみは100万ポルト』

撮影 野坂正昭さん(野田)

【連絡先】オシドリグループ事務局  
森田(電話72 0271)

岩手、長野、そして札幌からオシドリ情報が入ってきました。水辺に向かうヒナを警察官が交通整理していたとか。モニターを付けていたフクロウの巣箱にオシドリが産卵したとか。確かにオシドリは北へ移動していますね。抱卵や巣立ちの画像を紹介しているHPもあり、興味津津です。今月、100回目を迎えたこのコーナー。皆さんに支えられて大きな足跡になりました。感謝。

ヒナの情報

オシドリ  
にゅす

VOL. 100



●広報ひの6月号 NO. 629

●発行 日野町役場 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨101 TEL (0859) 72-0331 FAX72-1484

●編集 総務企画課 ●印刷 株式会社高下印刷

●ホームページ <http://www.town.hino.tottori.jp/> ●電子メール [info@town.hino.tottori.jp](mailto:info@town.hino.tottori.jp)



広報ひの

20